

市議会に「議員定数検討委員会」設置

党議員団「定数減前提の委員会は不適當」として反対

市議会は、市長が執行する行政運営に対して市民の声を反映させたり、市民の立場から不正や暴走がないか監視したりするための市民の代表です。そのため、市長と同様に市民による選挙で選出される、行政とは全く別の独立した機構です。

その役割を果たすには、市内のすべての市民がいつでも気軽に声を届けられるだけの人数が必要です。そのため、議会が行った意見交換会などでは、市民から「議員定数は削減すべきでない。増やしてほしい。減らせ」というと、議員の質を落とすことになる「議員定数は多いほどいい」「地元で議員のいない切なさを感じている」などの意見が出されています。



**まじもや
大幅増加**

上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

7月17日～7月23日 15.00 (県12.98)

7月24日～7月30日 25.25 (県18.51)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.800 2023年8月13・20日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

ところが、「上越の市議会議員の人数は多すぎる。もっと減らすべきだ」という主張をする議員もあり、4日の会派代表者会議で市議会内に「議員定数検討委員会」を設置する旨の提案が審議されました。

日本共産党議員団は、「議会は市民の声を行政に反映させる存在であり、減らすことは市民の声を届きにくくさせることになる。市民からは減らしてほしくないという多くの声が出されており、減らすべきではない。定数検討委員会は定数削減を前提にしており、設置すべきではない」と述べて、設置に反対しました。

ところが、他の会派は、「(任期の残りが数ヶ月間と)議論の期間が短いことを懸念しているが、検討はすべきだ」などとしてそろって賛成し、設置することが決まりました。

議員定数については、今後この検討委員会で議論されることになりました。そこで党議員団は、市民の立場に立ってしっかりと声が反映させられるだけの議員定数を確保することを目指して、毅然として議論に臨みます。



石川県内灘町の河北潟放水路を視察

—保倉川放水路整備促進議員連盟—

上越市議会内に設置されている「保倉川放水路整備促進議員連盟」(日本共産党議員団の3議員も所属)は7月31日、石川県内灘町にある「河北潟放水路」の整備の様子と、その周辺の町づくりを視察しました。

河北潟放水路は、能登半島のつけ根の西側海岸近くにある広大な潟「河北潟」の干拓(1963～1985年)に際して、潟の水を日本海に放流するために建設された放水路です。

現在は、地盤沈下などにより農業用排水施設の排水機能が低下していることから湛水被害が頻発しており、その防止を目的に新機能を備えた防潮水門(写真中央部分に完成予定)の新設工事などの改修が行われています。

この放水路の改修工事は、治水対策として国土交

通省によって建設される保倉川放水路とは異なり、農林水産省の農地防災事業として取り組みがなされています。総事業費は3億9000万円から始まり、2031年までかかるものとされています。

内灘町はこの放水路で町が二分され、南北で格差が生じたこともあったそうですが、新しい橋の建設などで格差の是正や南北交通の利便性向上が図られてきたそうです。地元町民の声を反映させてきたという内灘町の経験を、保倉川放水路建設にも生かしたいと思

来春の市議選に現職3氏擁立を発表 日本共産党上越地区委

日本共産党上越地区委員会(五十嵐健彦委員長)はこのほど、来春の上越市議会議員選挙にあたり、現職の3氏(橋爪法一氏、上野公悦氏、平良木哲也氏)を

擁立することを発表しました。

これを受けて橋爪法一議員団長は、「命と暮らしを守る市政のために、必ず議席を確保する」と語りました。

おかげさまで800号

**よりいっそう親しまれる
紙面づくりに努力します**

当議員団ニュースは、14市町村の合併間もない2005年2月27日に創刊して以来、基本的に毎週発行し、今号で800号を迎えることができました。これまでのご支援に深く感謝いたしますとともに、これからも変わらぬご愛読をお願い申し上げます。

「しんぶん赤旗」日曜版 8月13日号と20日号は特大合併号です。